

<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">泡消火設備試験結果報告書</p> <p style="margin: 5px 0 0 0;">試験実施日      年    月    日</p> <p style="margin: 5px 0 0 0;">試験実施者</p> <p style="margin: 5px 0 0 0;">住 所</p> <p style="margin: 5px 0 0 0;">氏 名</p> <p style="margin: 5px 0 0 0;">印</p>				
用 途	(      )項	構 造		
延べ面積	m <sup>2</sup>	階 数	地上      階    地階      階	
	固定式	(全域放出方式      局所放出方式)	移動式	
試 験 項 目		種別・容量等の内容	結果	
水	水 源	水源の種類・構造	—————	
		水 量	m <sup>3</sup> (縦    m横    m有効深さ    m)	
		吸水障害防止措置	有    ・    無	
		給 水 装 置	—————	
		耐 震 措 置	有    ・    無	
設 置 場 所				
外 観 試 験	加 圧 送 水 装 置	ポ ン プ の 仕 様	製造者名	定格吐出量      ℓ/min
				定格全揚程      m
			型式	製造番号
		電 動 機 の 仕 様	製造者名	種別      型電動機
				定格電圧      V
			型式	定格電流      A
		製造番号	出力      kW	
	ポ ン プ ・ 電 動 機	設 置 状 況		—————
			接 地 工 事	種接地
			配 線	—————
潤 滑 油			—————	
水 温 上 昇 防 止 の た め の 逃 し 装 置	配 管 ・ バ ル ブ 類	管の呼び	A	
		オ リ フ ィ ス 等	流過口径      mm	
性能試験装置の配管・バルブ類			—————	

試験項目			種別・容量等の内容	結果			
外 観 試 験	加 圧 用	ポ ン プ	材 質	鋼板製・合成樹脂製			
			水 量	ℓ			
			呼 水 装 置	溢水用排水管	管の呼び	A	
				呼 水 管	管の呼び	A	
				補 給 水 管	管の呼び	A	
				減水警報装置	フロートスイッチ・電極		
		制 御 装 置	設 置 場 所				
			制 御 盤	————			
			予 備 品 等	————			
			接 地 工 事		種接地		
		圧力計・連成計	設 置 位 置	————			
			性 能		級		
	減 圧 措 置			有 ・ 無			
	観 送 る 起 動 装 置 の 装 置	起 動 装 置	直 接 操 作 部				
			起動用水圧 開閉装置	起動用圧力タンク	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器		
				タンクの容量	ℓ		
		配管・バルブ類	管の呼び	A			
		自 動 式 起 動 装 置	閉鎖型スプリンクラーヘッド	————			
			自動火災感知装置	————			
		手 動 式 起 動 装 置	設 置 場 所 等	————			
			設 置 高 さ	床面からの高さ	m		
			構 造	————			
		表 示	————				
	流 水 検 知 装 置			————			
	高 架 水 槽 を 用 い る も の	構 造					
		内 容 積 ・ 落 差		m <sup>3</sup> m			
		配管・バルブ類	————				
水 位 計		————					
圧 力 水 槽 を 用 い る も の	種 類 ・ 構 造	第2種圧力容器・高圧ガス圧力容器					
	内 容 積 ・ 有 効 圧 力		m <sup>3</sup> MPa				
	自 動 加 圧 装 置	有 ・ 無					
	配管・バルブ類	————					
	水 位 計 ・ 圧 力 計	————					
耐 震 措 置			有 ・ 無				

試 験 項 目			種 別・容 量 等 の 内 容							結 果	
外	設 置 状 況										
	配管・バルブ類	機 器	配 管	_____							
			バ ル ブ 類	_____							
			吸 水 管	_____							
			フ ー ト 弁	_____							
	防 食 措 置		有 ・ 無								
	耐 震 措 置		有 ・ 無								
	電 源	常 用 電 源		V							
		非 常 電 源 の 種 類		専用受電・自家発電・蓄電池・燃料電池							
	観	放 射 区 域 又 は 防 護 区 域 の 数 及 び 設 定 状 況		階							—
放 射 区 域 等 の 数											—
発 泡 方 式 (高発泡・低発泡)											
設 定 状 況											
試	泡放出口	設 置 方 法	配 置 等	_____							
			配 管 へ の 取 付	_____							
			取 付 方 向	_____							
	機 器	泡 へ ッ ド	_____								
		高発泡用泡放出口	_____								
験	制 御 弁		設 置 場 所 等	_____							
			設 置 高 さ	床面からの高さ						m	
			構 造	_____							
			表 示	_____							
流 水 検 知 装 置 ・ 圧 力 検 知 装 置		設 置 場 所 等	_____								
		種 別 ・ 口 径	_____								
		減 圧 警 報	_____								
		構 造 ・ 性 能	_____								
一 斉 開 放 弁	起 動 操 作 部	設 置 場 所 等	_____								
		設 置 高 さ	床面からの高さ						m		
	作 動 試 験 装 置		_____								
	構 造 ・ 性 能		_____								

試 験 項 目			種 別・容 量 等 の 内 容							結 果		
外 観 試 験	自動警報装置	音響警報装置	_____									
		火災表示装置	_____									
	防護区画の開口部 (高発泡に限る。)	開口部の措置		_____								
		自動閉鎖装置を設けない開口部		_____								
		開口部の構造										
	貯蔵槽等	貯蔵槽	設置場所									
			機器	消火剤の適合性	_____							
				貯蔵量	ℓ							
				圧力計の指示	MPa							
		混合装置	設置場所									
			混合方式									
		泡消火薬剤	種 別	たん白・界面活性剤・水成膜								
			性 能	希釈容量濃度 %								
	耐震措置		_____									
	泡消火栓等	泡消火栓	泡消火栓の設置個数	階								
				設置個数								
			設置場所		_____							
			周囲の状況・操作性		_____							
			開閉弁設置高さ		床面からの高さ m							
			ホース接続口		_____							
泡消火栓箱		周囲の状況		_____								
		設置状況		_____								
		材質等		_____								
		表示灯		_____								
		表示		_____								
ホース・ノズル		ホース(結合金具を含む。)		_____								
		ホース接続口		_____								
		ノズル		_____								
		結合状態		_____								
	収納状態		_____									



試 験 項 目			種 別・容 量 等 の 内 容							結 果		
総 合 試 験  備 考	泡放射試験 (低発泡によるもの)	移動式	25 % 還 元 時 間 (sec)									
			放 射 区 域								—	
			放 射 状 況									
			放射量の測定	放 射 圧 力							MPa	MPa
				放 射 量							ℓ/min	ℓ/min
			希 積 容 量 濃 度							%	%	
			発 泡 倍 率							倍	倍	
			25% 還 元 時 間							sec	sec	
	泡放射試験 (高発泡によるもの)		放 出 区 域								—	
			起動性能等	自動火災感知装置による起動								
				手動起動装置による起動								
			自動閉鎖装置の作動状況									
			放 射 状 況									
			放出停止措置による停止状況									
非常電源切替試験		自 家 発 電 設 備							———			
		蓄 電 池 設 備							———			
		燃 料 電 池 設 備							———			
備 考												

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
- 3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成9年消防庁告示第8号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。
- 4 結果の欄には、良否を記入すること。
- 5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
- 6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。